

# 記入方法

様式第1号（第6条関係）

提出日を記入してください。

年 月 日

大村市長 様

法人の場合は法人名を、法人でない場合は、申請団体で名称を決めてご記入してください。

法人の場合はその所在地を、それ以外の場合は事務所の所在地や代表者の住所を記入してください。

団体等の名称  
住所  
代表者の氏名

役職及び氏名を記入してください。

年度を記入してください。

年度なんでんかんでんチャレンジ40助成金交付申請書

年度におけるなんでんかんでんチャレンジ40助成金の交付を受けたいので、大村市補助金等交付規則第5条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり申請します。

記

助成金の額を記入してください。  
(要綱第5条参照)

1 交付申請額 \_\_\_\_\_ 円

2 添付書類

- (1) 事業計画書（様式第2号）
- (2) 構成員名簿（様式第3号）
- (3) その他市長が必要と認める書類

**記入欄が不足する場合は、全ての記入欄において、枠を広げて記入して構いません。**

事業計画書

1 事業の概要

**要綱第3条第1項の中で最も当てはまる事業を1つ記入してください。**

事業の区分	
事業の名称	
事業の内容	<b>どのような活動を行うか具体的に記入してください。</b>
実施する場所	
対象者	(例：子ども、高齢者) <b>申請事業の対象者を記入してください。</b>
参加見込人数	

2 実施予定時期等

**申請事業の参加人数の見込みを記入してください。**

実施予定時期	活動の内容
	<b>事業の準備期間から当日までの工程について、時期を明確にし、時系列で具体的に記入してください。</b>
事業の周知方法	(媒体)

**告知や周知活動を行う際の媒体や数量、場所を記入してください。  
(例):チラシ 1,000 枚を市内公共施設に設置。**

3 収支予算

・申請事業に係る収支予算のみを記入してください。  
 ・団体の運営やその他の事業に係る経費を混在させないでください。

(1) 収入の部

内 容	予算額 (円)	備 考
なんでんかんでんチャレンジ 40 助成金	〇〇,〇〇〇	様式第1号の交付申請額と一致することを確認してください。
参加費	〇〇,〇〇〇	
自己負担	〇〇,〇〇〇	
本助成金のほかに、収入がある場合は、記入してください。		
合 計	●●●,●●●●	「支出の部」の合計金額と一致することを確認してください。

(2) 支出の部

内 容	予算額 (円)	備 考
使用料	〇〇,〇〇〇	「単価・数量」などを具体的に記入してください。
謝礼	〇〇,〇〇〇	
消耗品	〇〇,〇〇〇	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象外の経費が含まれていないか確認してください。(要綱第4条参照)</li> <li>・見積書又は金額が確認できる資料(カタログなど)を提出してください。</li> <li>・単価が20万円以上のものは、2者以上の見積書を提出してください。</li> </ul>		
合 計	●●●,●●●●	「収入の部」の合計金額と一致することを確認してください。

提出日を記入してください。

年 月 日

構成員名簿

- ・合計3名は確実に記入してください。
- ・構成員は、大村市在住でなくても構いません。
- ・構成員が3名未満となった場合は、その時点で助成金交付の資格を失います。

役職	氏名	住所等	年齢
代表者		連絡先 ( )	
副代表者		連絡先 ( )	

代表者及び副代表者は連絡先を必ず記入してください。

代表者及び副代表者の年齢は、18歳以上であるか確認してください。

※連絡先は代表者及び副代表者のみ記載してください。

# なんでんかんでんチャレンジ40助成金事業説明シート

団体等の名称（ ）

事業名： \_\_\_\_\_

**審査項目ごとに記入欄を設けています。  
みなさまの活動がどのような効果があるか、  
また活動に対する熱い思いを記入してください。**

## 1. 目的の妥当性について

(どのような課題、ニーズに対して、どのような事業を実施しようとしていますか。また、効果をどのように見込んでいますか。)

## 2. 目的の公益性について

(事業の対象は、市民のどの層(例：子ども、高齢者、全市民)を対象者と考えていますか。また、多くの市民の参加が期待できる提案ですか。)

## 3. 事業効果の発展性、継続性、波及性について

(この事業は、次年度も継続しますか。この事業からの人的交流の広がりや経済的波及はどのようなものが考えられますか。)

4. 事業の計画性、実現性について

(使用会場や協力者に事前に確認を取り承諾を得ていますか。経費は、概算でなく見積書を取り、現実的な経費が計上されていますか。)

5. 事業の独自性、先駆性について

(他の類似事業にない新しい特色がありますか。新鮮味や意外性など、多くの市民に受け入れられる事業となっていますか。この事業の「売り」を記入してください。)

6. 助成金の交付を受けられなかった場合の事業実施について

(助成金の交付を受けられなかった場合、事業を行うかどうか記入してください。)

7. その他

(審査員にアピールしたい事柄がありましたら記入してください。)